



SHINAGAWA

# 議会報告

～品川区議会公明党～

【品川区議会公明党会派報告】

●発行：品川区議会公明党 幹事長：若林ひろき

●〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL 03 (5742) 6817 FAX 03 (3774) 3366 URL <http://www.shinagawa-gikaikomei.org>

品川区の「今」をお伝えします!

2018年

no.1

## 定例会報告



品川区議会公明党は、平成29年の第2回、第3回、第4回定例会、決算特別委員会において、以下の質問を行いました。「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」であり続けるために、子どもたちが、そしてひとり一人が明るくいきいきと暮らせる街づくりを進めます。

### 防災

#### 避難所におけるプライバシーの確保

Q: 紙の簡易間仕切りを提供するNPOと協定を結ぶなど、避難所のプライバシー確保を求める。

A: 間仕切りの確保は有効な手段と認識しており、協定締結に向けて調整している。

#### 街かど消火栓の普及

Q: 簡易水道消火装置、いわゆる「街かど消火栓」について、防災区民組織の関係者や幅広い区民への普及啓発を図るため、しながわ防災体験館での展示について進捗を聞く。

A: 街かど消火栓のしながわ防災体験館への展示については、間もなく発注の予定で、早期に展示を目指す。

#### 災害時のスムーズな初動対応

Q: 災害時等の職員および避難所開設時の関係者の初動対応をスムーズに行うための品川版「First Mission Box」\*1の作成を提案。

A: First Mission Boxは、適切な初動対応のための有効な手段と認識し、参考としながら初動対応の更なる充実に取り組む。

\*1 BOX内に具体的な行動内容が図面入りわかりやすく表記されたカードが収納されていて、カードをめくことで慌ただしさの中でも落ち着いた対応がとれるよう配慮されている

### 健康・福祉

#### 健康マイレージの実施

Q: 自主的に健康づくりに取り組む区民のインセンティブとなるよう、商品券や施設利用券などを支給する品川版「健康マイレージ」の実施を提案。

A: インセンティブを付与することで健康づくりの動機付けをする手法は、区民の健康寿命の向上に寄与するものであり、平成30年度の実施に向けて検討している。

#### 地域包括ケアシステムの多職種連携

Q: 多職種連携を効果的に進めるため、関係者の間を調整し推進する役割を担う担当課を設置し、保健師など、介護と医療の双方に専門的スキルを持った人材の配置を提案。

A: 更なる連携を図るため、介護・医療部門を調整する担当について検討している。専門職の配置については、検討の中で適宜判断する。

#### エンディングプラン・サポート事業

Q: 一人暮らし高齢者などに、自分が亡くなった後の安心感を持ってもらうため、横須賀市のエンディング・サポート事業を参考に、区による終活支援事業を要望。

A: ご本人や、支える側である地域の方の安心感が得られる仕組みについて、各種相談事業を通じてニーズを把握しつつ、他自治体での実績を検証する。

#### 医療的ケアが必要な障がい児・者の短期入所

Q: 医療的ケア付きの障がい児・者入所は、施設に医者や看護師などを配置する方策や、病院での医療ショートステイなどがあるが実現性について品川区の見解を聞く。

A: 医療機関と連携し、医療ショートステイ事業を実施することが望ましいと考えている。現在、区内の医療機関に事業協力の打診をしている。

### 子育て・教育

#### 子どもの貧困対策

Q: 文京区の「子ども宅食」のように低所得世帯の自宅まで食料が届くシステムの導入を求める。

A: 実施するNPO法人等に聞き取りを行うなど研究を進める。

#### 八潮での「子ども食堂開設」

Q: 八潮での「子ども食堂」は、八潮地域の特色を活かした多世代の交流と食品ロス削減の視点を加味した施設として開設するよう要望。

A: 開設支援に当たっては、多世代が交流できるような場所を検討し、食品ロスについては、企業から食品の有効活用についての提案を受け、食品ロス削減に寄与していく。

#### 品川コミュニティスクール

Q: 品川コミュニティスクールの取り組みについて、子ども達にどのような影響があったのか聞く。

A: 地域の協力で英検合格のための講座を開設するなど、多様なニーズに対応する中で、子ども達も地域に支えられ、見守られているという実感を持ちつつある。

### まちづくり

#### 大規模町会のあり方

Q: マンション住民が9割を超える大規模町会で急増する、高齢者や子育て、防災等の課題に、地域コミュニティとしての町会の役割を、品川区はどのように考えているか。

A: 民生委員の負担軽減、保育・教育機関の確保、投票所機能の拡充など問題点を把握して対応していく。

#### コミュニティバス

Q: 財政的に厳しいと思われる自治体でコミュニティバスが導入されているが、健全財政とされる品川区において財政負担の許容範囲について見解を求める。

A: 収支のバランスも重要だが、品川区内は44系統のバス路線があり、コミュニティバス導入に際し、既存バス路線との重複について十分な協議が必要となる。

### 東京2020オリンピック・パラリンピック

#### 平和の種の配布

Q: 平和の祭典でもあるオリンピック・パラリンピックに向け、区民に「平和の種」として種を配布し、花で東京2020大会の来訪者を迎えると共に、来訪者にも「平和の種」を配布してはどうか。

A: 赤いカンナの花を平和の象徴としている平和の花壇事業や、平和の祭典でもあるオリンピック・パラリンピック開催に係る機運醸成・おもてなし推進とも関連した実施の可能性を検討する。

#### 東京2020オリンピック・パラリンピック来訪者のおもてなし

Q: 暑さの厳しい時期の開催にあたって、最寄駅から大会会場までの動線に、クールスポットやミストシャワーの設置、また、歩道に温度が下がる効果のある遮熱舗装を提案。

A: 道路の遮熱舗装は、オリンピック・パラリンピック競技施設周辺の無電柱化事業に合わせて実施する。その他の提案は、必要に応じて大会組織委員会に意見や要請をする。





# 品川の未来をつくる施策を要望!!

## 平成30年度に向けて234項目にわたる予算要望を行いました



京浜運河および天王洲地区のボードウォークにカフェスペースを設置するなど、賑わいの創出につながる規制緩和を国や都に働きかけること

児童虐待防止ネットワークを強化するため、品川児童相談所の区への移管を早急に進めること

品川区でのコミュニティFM開局の支援

無料Wi-Fiを区内全体で使えるように整備

タクシー券、ガソリン券利用について、所得制限と選択制を撤廃

所得制限を撤廃し、私立幼稚園保護者補助金を全家庭に支給

移動支援事業を小学生にも拡大し、日常生活及び社会生活を支援

不登校児童・生徒に対する在宅学習支援に取り組むこと

パート・自営業の方などへの支援のため、短時間保育を0歳児から行い、実施箇所も拡大すること

乳幼児及び児童・生徒への季節性インフルエンザ予防接種の助成制度を新設

特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム、小規模多機能居宅介護施設などを増設



区道の電線類地中化を積極的に行うこと

JR大崎駅周辺の再開発による乗降客の増加に伴い、駅や周辺の危険を回避するための対策を講じること

建物の耐震強化のために、耐震診断助成の対象となっていない、昭和56年から平成12年の建物でも耐震診断等の助成を検討すること

各種士業(税理士・行政書士・社会保険労務士)を講師とした授業の予算措置を検討すること

## 自治体の先進事例を視察

区議会公明党では、よりよい品川区政の実現のため他自治体の先進的な事例を積極的に視察し、議会質問などに活かしています。

### 8月10日 静岡県袋井市 ● 生活習慣病予防、介護予防・高齢者生活支援

特定健診受診率が52.9%で県内1位であり、糖尿病などの重症化を防ぐため、国の補助金を活用した保健指導を実施。また、地域包括ケア推進課の専門スタッフが、困難事例を解決するため多職種の連携を図りながら介護予防・高齢者生活支援に対応。

### 8月16日 豊島区 ● リノベーションまちづくり

“リノベーションまちづくり”とは、平成26年5月に「日本創生会議」から東京23区で唯一、消滅可能性都市とされた対策として、女性にやさしいまちづくりを目指すもの。リノベーションスクールと称して空き家の利活用を推進。



### 8月17日 神戸市 ● コミュニティバス

「神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例(まちづくり条例)」によって、各地区の発意によるまちづくりを、市民の役割を明確にした上で行政が支援する環境があり、この条例を根拠に、「塩屋まちづくり協議会」が設置されコミュニティバス導入を推進。

### 8月18日 北区 ● 医療・介護連携推進事業

全高齢者実態把握調査を受けて重要課題とされた介護医療連携による地域包括ケアを検討した結果、介護医療連携推進担当副参事の配置・高齢者あんしんセンターサポート医の配置・在宅介護医療連携推進会議の設置をして地域包括ケアを推進。

### 8月25日 堺市 ● 子育てと介護、障がい者ケアに同時に直面する「ダブルケア」

堺市内全7ヶ所の区役所にある基幹型包括支援センター内に「ダブルケア相談窓口」を設け、保健師を中心に相談対応を実施。併せて、保育所の入所基準指数や特別養護老人ホーム入所判定基準への加点、ショートステイ利用日数拡大なども展開。

### 8月30日 横須賀市 ● エンディング・サポート事業

生活保護を受けておらず、低所得世帯の方々に、身寄りのない世帯に対して、生前の遺志がしっかりと尊重される死に係わる支援策として葬儀・納骨・延命治療意思などのエンディング・プランサポート事業を実施。

### 11月2日 練馬区 ● 乳幼児健康診査

弱視の早期発見のため全幼児に対し、健診時に視能訓練士による視力検査の実施を、平成28年度から導入。

## 医療的ケアが必要な児童の支援事業所「ほわわ品川」を訪問

8月3日に区議会公明党の会派6名で「ほわわ品川」を訪問しました。「ほわわ品川」は、医療的ケアが必要な0～6歳までの児童の発達支援事業を運営する施設で平成29年2月に東品川に開設されました。施設責任者から施設の中を案内していただき、看護師などのスタッフが医療的ケアが必要な小さな児童をケアしている様子を拝見しました。その後、スタッフ2名と、品川区内に医療的ケアが必要な児童が何人ぐらいいるのか、施設運営上の課題、品川区や他の児童福祉施設や教育機関との連携などについて意見交換させていただきました。近年、医療的ケアが必要な児童は増加しており、「ほわわ品川」のような施設が必要になります。これからも医療的ケアが必要な児童の支援に努めてまいります。



## 区政に関する意見交換会を実施

7月20日(木)～27日(木)に、区内の各種団体と区政に関する意見交換や要望をお聞きする懇談会を実施しました。医療・福祉・障がい者団体、建設関連団体、税理士や行政書士などの士業の団体等、36団体の方々と現場の様々な課題や新たな時代への提言など大変に有意義な意見交換の場を持つことができました。



諸団体からお聞きした区政に関するご意見・ご要望は、議会質問や予算要望等を通じてよりよい区政へと活かしてまいります。

### 公明党の区議会議員

- 若林 ひろき (わかばやし)
- たけうち 忍 (しのぶ)
- 浅野 ひろゆき (あさの)
- このの 孝子 (たかこ)
- 塚本 よしひろ (つかもと)
- あくつ 広王 (ひろお)
- つる 伸一郎 (しんいちろう)
- 新妻 さえ子 (にいづま)

皆様の声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817

FAX 03(3774)3366

Eメール info@shinagawa-komei.org